宮竹っ子

10月号　令和５年10月12日 家庭数配布 地域回覧
令和5年度静岡市立宮竹小学校 学校だより

◇前期の成果と課題を活かして後期100日間のスタートです！

約６ヶ月間の前期を終え、ここまでの通信票（「あゆみ」）とともに教育面談で保護者の皆様に担任より前期の良かったところや今後頑張りたいことをお伝えさせていただきました。指導要領に基づきこれまでの経過を看取りながら担任、担当より丁寧に評価させていただきました。家庭でのご支援の参考にしていただければ幸いです。

※10/5 四年生自然体験教室より

3月まで残り授業日数はちょうど100日！10日の始業式（感染症対策のためリモート開催）では、生活面を中心に、それぞれが少しずつのレベルアップを図ろう！と子ども達にお話ししました。勉強、読書、あいさつ、時間、行事、係の仕事…何でもいいので今までより「できた！」「やった！」という経験を増やして一人ひとりがレベルアップすることで、宮竹小学校全体もよりすばらしい学校になるよ！とお話ししました。

ご家庭でも、ささいなことから子どもにチャレンジさせ、親が「ありがとう」「よくできたね」と言えるような機会を沢山つくっていただくと小さなレベルアップに繋がります。後期はまとめと次のステップへの準備の期間で、様々な行事もあり、「教育充実の時期」を迎えます。学校とご家庭と連携して、子ども達のために引き続き進んでいきたいと思います。子どもたちへのご支援のほどよろしくお願いします！

◇全国学力・学習状況調査の結果より（R５年４月６年生に実施）

本校６年生が行った全国学力調査の結果が届きました。6年生が実施した調査ですが、参考になることが多いので学校便りの紙面を借りて報告させていただきます。

教科調査では国語の正答率平均が「66%」（県67%全国67%）、算数の正答率平均が「59%」（県62%全国62%）で算数が平均よりやや下という結果でした。国語では「文章を読んで自分の考えをまとめる力」算数では「図形や数式、グラフの関係について記述で説明する力」に課題が見られました。「国語算数」は昔から「読み書きそろばん」と言われ、小中学校の学びの基本です。学校の授業は勿論のこと、毎日の宿題や自主的な学習で基礎的基本的な学力を高めていきたいですね。本校で実施している漢字検定なども学力向上の一助となるかと思います。

質問紙調査では「○人が困っていたら進んで助ける」「○道徳の授業で考えを深めたり話しあったりしている」「○ICT機器を学習に有効活用している」等に非常に高い肯定的な回答が得られました。一方で「●毎日同じくらいの時刻に就寝できている」「●読書は好きである」「●地域の行事参加している」にはやや低いあらわれが見受けられました。規則正しい生活は生きていく上で大切な大切な習慣となります。ICTの活用力が向上してきた一方で読書力の低下は気になるところです。「読書百編意自ずから通ず」と言います。ご家庭でもぜひ読み聞かせなどから書物への関心を高めていただけると幸いです。アフターコロナの中で地域、PTAの行事もブラッシュアップされて復活してきています。まずは参加することで得られるものも多いのではないかと思います。11/11の引き渡し訓練、11/22の子育て講演、12月の地域防災、そして12/10たけぱんフェスなどご協力よろしお願いします！

※10/1 宮竹学区体育祭より